



発行人 会長 亀澤 弘

### まちづくりは、

### 地域の活動の要

栄区長 尾仲 富士夫



5月1日付で栄区長に就任しました尾仲でございます

3月に発生した東日本大震災では、直接の人的・物的被害もさることながら、原子力発電所

本郷中央地区社会福祉協議会

会長 亀澤 弘

3月11日の東北地方の未曾有の地震と大津波による筆舌に尽くせぬ大災害に加え、東電の原発の被害は空前絶後のものであります。

当地区社協で出来る鎮魂と支援の仕方を想い、迷い迷う昨今、苦悩しています。

事故により電力供給の状況が厳しくなり、我々一人ひとりにとつて切実な問題となっております。節電の取組が求められてはおりますが、これから暑い夏を迎えるにあたり、健康を害することのないようにご留意ください。

栄区では平成21年度に「第2期栄区地域福祉保健計画」を策定し、22年度からは計画の実現に向けて、各地区で取組を進めていただいています。この3月に計画に関連して、区民の皆さんの身近な地域における福祉・保健に関する意識・行動の変化やニーズを把握するため、区民アン

ケートを実施しました。

アンケート実施期間中に東

日本大震災が発生しました。災害関連の質問もありました。「災害時に高齢者や障害のある人の安否確認や避難誘導などを行う活動に参加したいですか」という問いに対して、「自分のできる範囲で参加したい」と「いざ災害が起きたときには、助けあいたい」と肯定的な回答があわせて8割を超えています。こうした意識をもった方たちを、どのように具体的な取組への参加に結びつけるかが重要であると考えています。

本郷中央地区では以前から協働福祉講座の開催や、自治会訪問活動など、様々な取組が積極的に展開されていると伺っています。誰もが安心して暮らせるまちをつくるためには、こうした地域での活動こそが大切であり、その要となります。栄区役所も地域の皆さんと手を携えてまちづくりに取り組んでまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。

### つながりを大切に

栄区社会福祉協議会

事務局長 田中 文子



本郷中央地区の皆さま、こんにちは。

栄区社会福祉協議会に着任して今年で3年目を迎え、この4月に事務局長に就任しました。また、事務局次長にはあらたに田中一樹を迎え、職員ともども、どうぞよろしくお願いたします。

この2年間は丁度、「第2期栄区地域福祉保健計画」の策定とスタート1年目という重要な時期にあたりましたので、地域々々な活動の場にお伺いして、皆さま方の生の声を直接お聞きする機会を得ることができました。地区計画策定では、熱心に議論を積み上げていただき、「いずれの課題も、解決の前

提として、近隣の住民同士が知り合うことが大事だと気付いた。つながりを大切にしていきたい」との意見が多くありました。こうした多くの出会いを通して、豊かな活動経験をもとに連携と努力によって街が成り立っているということを実感した2年でもありました。

「地域福祉」というと難しく聞こえますが、近隣で、できる人が、できることを、できる時に相互に手をさしのべあうことであろうと思います。そのためには、日頃からの声を掛け合う関係を築くことが要となります。

社会福祉協議会の目指すところは、地域の皆さんが「自分たちの町は自分たちで良くしたい」という思いを築き、その活動を後押ししていくことでもあります。社会経済情勢の変化に伴い福祉動向も大きく様変わりしてきていますが、そこに住まう人たちの暮らしの中で引き継がれてきたものや思いを大切にしながら、丁寧な仕事を心がけていきたいと思っております。

# 平成23年度

## 評議員会開催

福祉保健計画推進のため、他の組織との連携

平成23年5月28日(土)、本郷地区センターにて、本郷中央地区社会福祉協議会の評議員会が開かれました。

当日は来賓として、栄区社会福祉協議会から田中事務局長・当地区担当の谷口氏の出席を頂きました。

当日の評議員の出席は36名でした。

### ★本地区の福祉活動の

#### 母体として

平成22年度の事業報告・会計報告が行われ、承認されました。続いて平成23年度の事業計画・予算について討議・検討が行われ、承認されました。

第2次地区福祉保健計画の推進のために、各種福祉推進機

関・組織との連携を一層深めていくことが確認されました。

主な事業計画について、いろいろな意見が出され、今後の活動に反映されることになりました。

構成団体での役員交代によって新しく評議員になられた方々の紹介がありました。

### ★評議員会

構成は45名の、次の各種関係団体の代表者の方々から成っています。

民生委員・児童委員協議会、主任児童委員会、更生保護女性会、青少年指導員協議会、体育指導委員連絡協議会、保健活動推進員会、町内会自治会、交通安全協会分会、地区シニアクラブ連合会、消費生活推進員の会、環境事業推進委員会、街ぐるみ健康づくりの会、地域包括支援センター。

### ★理事会

評議員会で選ばれた18名の代表で理事会を構成しています。理事会は評議員会の方針・意向

を十分に汲み取り、円滑に、かつ総意に基づいた事業の執行を行っていきます。月1回以上の理事会を開いて、全員が各々の個性や得意分野、抱負を活かした活動を目指しています。

### ★平成23年度の主な事業

◇「敬老のつどい」

9月19日(月)(敬老の日) 栄公会堂

◇福祉講座開催

災害問題についての講座 10月8日(土)

◇福祉フォーラム開催

平成24年3月予定

◇自治会訪問

各自治会と福祉問題について協議

◇いかだまつり

8月21日(日)

◇青少年対応懇談会

地域の青少年の社会参加の仕組みなどを検討

◇広報活動

本紙「ふれあい通信」を年4回発行

◇特志賛助会員募集  
地域福祉の強化、発展、充実を図るため、皆様からの篤志をお願いしています。

◇活動団体支援事業

●子育て喫茶 「げんき」

●高齢者会食会

「三水会」

●高齢者・身体の不自由な方へのミニデイサービス 「公田山百合会」

●高齢者による

環境美化活動

「シニア同友会」

◇関係機関との連携

各種事業参加・協働

本年度評議員役員は昨年を引き続き、次の方々によって運営されることとなりました。

顧問 野村 政晴

会長 亀澤 弘

副会長 竹谷 康生

副会長 佐野 勝彦

事務局長 木村 知恵子

会計 吉野 三重子

## 特志賛助会員募集

本郷中央地区社会福祉協議会では地域住民のだれもが心豊かに生活をし、安全で安心できるようにお互いが協力し合う住民活動の推進をしております。

福祉の充実を図るため、是非とも皆様の心温まるご支援、ご協力が必要としております。

どうぞ社会福祉協議会の趣旨をご理解頂き、一人でも多くの皆様に特志賛助会員にご加入頂きたくお願いいたします。なお、会員の受付は通年で随時、行っております。

◇賛助会員(年会費)

一口 一、〇〇〇円

ご連絡いただいた方には、本協議会役員および民生委員・児童委員などの関係者が集金にお伺いいたします。

詳しくは左記へお問い合わせください。

本郷中央地区社会福祉協議会

事務局 木村知恵子

☎(892) 0197

# 私たちの地域福祉を支える人々

.....この方に聴く

- ① あなたの組織の昨今活動状況。
- ② 「地域社協」に対してのお考え。

足立 弘治氏(当地区シニア同友会代表)



シニア同友会は平成 14 年に設立した会員数 7 名、平均年齢 74 歳の高齢者集団である。

設立の目的である高齢者を主体とする福祉活動の仕事はなく、やむなく美化運動を行う様に変更した。毎週月曜日及び木曜日の 9 時に区役所に集合し、ラジ操体操を行った後、4 つのコースに分かれて作業を行っている。

作業コースは区役所を中心にして、城山橋までのいたち川の遊歩道、消防署、地区センター、図書館、共済病院前、農協前、天神橋から日東橋までの遊歩道、同区間の除草を行っている。

スタート時はタバコのすいながら等が数千本あったが現時点では非常に少なくなってきた。現時点まで事故もなく和気あいあい仕事を行っている。

平均年齢が高く現状のままであれば近い将来問題となってくる。活動をやってみたい人は是非入会をお願いしたい。

地区社協については大勢の人々を動かす事は大変であるが良く運営されていると思う。

白石 京子氏(子育て喫茶「げんき」代表)



毎月第 2・第 4 水曜日、午前 10 時〜午後 4 時まで、本郷地区センター 2 階で 0 歳〜3 歳

親子対象の子育てサロンを行っています。コーヒー・紅茶・カレーを準備し、実家に帰った時のように息抜きできる居場所になればと願っています。

お母さんと一緒にお子さんの成長に驚いたり、喜んだり、毎回私たちが、楽しませていただいております。

昨年の 9 月より、桂台自治会のご支援をいただき、子育て中のお母さん達が、桂台自治会館で、元気ひろば、を立ち上げました。自分の子供を見るだけでなくひろばに集う子供をみんなで見守り、手遊び、工作、読み聞かせなども行い、世代の異なる人が集えるサロンにしたいと頑張っています。

毎月最終火曜日午前 10 時〜午後 2 時、子供達と一緒に過ごしませんか?

「げんき」は地区社協・地区民児協の共催事業としてスタート、地区社協を通して地域全体で子育て中の親・子、そして子育てサロンに関わる側を支えてくださり、心強く思っています。

三村 薫氏(三水会代表)



本郷中央地区 13 町内会の 70 歳以上で一人暮らしの高齢者を対象とした食事会を地区

センターで毎月第三水曜日に行っております。民生委員と「友の会」と利用者の方々に「三水会」を組織して昨年 30 周年が過ぎました。これもひとえに地区の多くの方々の支えがありましたことに感謝致しております。

「三水会」は食事だけでなくお互いの近況や健康への気配り等おしゃべりの場として楽しみに来て下さる利用者のために、毎月のお楽しみ会として「誕生会」や 7 月の七夕祭り・12 月のクリスマス会を行っています。

「地区社協」より発信して下さる支援の数々が地域に向けて多くの方々

に安心と喜びを与えており、私たち民生委員も生かされていると思います。これからも高齢化の進む地域で利用者の方々に楽しみに来て下さる「三水会」を目指して行きたいと思っております。

横瀬 孝子氏(前公田山百合会代表)



公田山百合会は平成元年栄区旧保健所の中途障害者のリハビリ教室として開設されました。

10 年後自主運営となり、今日に至っております。その間介護保険の導入、ボランティアの減少等の問題もありましたが、現在会員 30 名、ボランティア 10 名、総勢 40 名体制で、月一回公田ハイツの集会所で活動しています。

この会も自主運営になってからは、障害者だけでなく、70 歳以上のひとり暮らしの方、昼間ひとりになる方も対象としています。

会の目標は「ひきこもりをなくす」ことで、参加者が「楽しかった」「また来月も楽しみにしています」という会になるように努めています。

23 年度の活動は、年 2 回のバスハイク、公田小 4 年生の交流会、クリスマス会、新年会等を計画しています。

活動にあたっては区社協、地区社協、地区民児協、会場提供の公田ハイツ等の協力を感謝いたします。

### 災害を超え、つながり合う地域を目指して！

桂台地域ケアプラザ

所長 石塚 淳

3月5日に行われた協働福祉フォーラムでは「つながる」をキーワードに自治会とボランティアグループのつながり、ボランティアグループ同士、ボランティアグループ同士のつながりなど、地域の課題を解決するためにさまざまなつながりをつくっていかうと確認しました。

その6日後にまさかの東日本大震災が起こり、被災地ではたくさんの尊い命が失われ、未曾有の被害が出る事態になってしまいました。

幸い栄区では大きな被害はありませんでしたが、大規模停電により帰宅難民になってしまったり、情報が届かなくなったりと大変な混乱が起こりました。

フォーラムでも話題になっ

ていましたが、ここ数年、本郷中央地区で大きな課題になっているのが大規模災害発生時の要援護者避難支援の取り組みです。

この問題の解決の糸口として普段からの見守り活動が大切だと言われています。言い換えれば「日頃からのお付き合い、向こう三軒両隣の近所づきあい、顔の見える関係づくりを大切にしよう」ということです。

震災が発生して、はや3か月が過ぎました。地域では緊急集会が行われたり、防災関係のボランティアの方たちはインターネットで震災に関する細かな情報を提供し続けています。

当法人でも被災地に障害者施設へのボランティア派遣や募金活動を続けています。

今や「みんな自分のできることをしよう」が合言葉になっていますが、今後ケアプラザでも防災に強い街づくりに向けた「地域のつながりづくり」を支援することが大きな課題になると強く感じています。

# 振り込め詐欺 栄区で連続発生！

今年1月から6月迄で  
既に12件 2500万円  
の被害！



10万円丸儲け！  
シメシメ

振り込め詐欺にご注意ください！

#### ★原稿募集★

当地区社協広報部では、地域の皆さんからの福祉の向上に関するものや福祉に関係する団体の活動についてなど諸々の話題・意見などお待ちしております。

本紙は3月、6月、9月、12月頃にそれぞれ発行予定ですので、いずれの場合も発行予定の前月末までに、2頁最下段に記載の事務局までお寄せください。  
(広報部)

#### ◆編集後記◆

栄区長に尾仲富士夫氏が、栄区社協の事務局長に田中文字氏が就任され、ご挨拶を頂きましたので、1面に掲載させて頂きました。

公田山百合会代表として、ご活躍でした横瀬孝子さんが退任されました。ご苦労様でした。後任は峯岸礼子さんです。よろしくお願い致します。

(編集委員一同)

#### 編集委員

青木 功  
木村 知恵子  
前田 万里子  
柳本 佳子  
星 明男